

# 溶接事業部門



売上高

+2.1%

777億円



経常利益

+165.6%

46億円



経常利益率

+3.7 points

5.9%



## 2010年度の概況

2010年度における溶接材料の販売数量は、中国、東南アジア、韓国などアジア地域での需要が堅調に推移したことなどから、海外を中心に2009年度を上回りました。また、溶接システムについても中国の建設機械分野向けの需要が旺盛に推移しました。

以上の結果、2010年度の売上高は2009年度比2.1%増の777億円となり、経常利益は、2009年度に比べ28億円増益の46億円となりました。

	億円		増減率
	2009年度	2010年度	
売上高	762	777	+2.1%
経常利益	17	46	+165.6%

## TOPICS

### 中国事業の強化—中国市場の溶接ソリューション展開を推進—

2010年4月に営業を開始しました中国・上海市の溶接材料ならびに溶接システムの販売会社である「上海神鋼溶接器材有限公司」では、同社事務所内に溶接ロボットのデモスペース（実演場）を設置し現地対応力の強化を進めています。また、中国での拡大する需要に対応するため、ソリッドワイヤの生産販売拠点である「唐山神鋼溶接材料有限公司」、軟鋼フラックス入りワイヤの生産販売拠点である「青島神鋼溶接材料有限公司」においても増産投資を実施しています。今後も更なる拡大を続ける中国市場において、受注拡大はもとより、営業効率と市場掌握力も高め、現地の活動を支えるスタッフの育成基盤づくりを推進し、市場における競争力の強化と溶接ソリューション展開を進めていきます。



「上海神鋼溶接器材有限公司」の溶接ロボットのデモスペースです。中国市場への溶接ソリューションの発信基地として取り組んでいます。

### 新興国市場への参入—成長するインド市場に新会社を設立—

2011年6月に、インドのハリヤーナ州グルガオンにKOBELCO WELDING INDIA PVT. LTD. (略称 KWI) を設立しました。インドでは、インフラ関連を中心に需要の拡大が見込まれ、エネルギー分野向けの高付加価値溶接材料の最大受注を図るとともに、溶接のトータルサポートが行える新会社を設立しました。アセアンと連携した効果的な営業推進などの戦略拠点として、取り組みを積極推進していきます。

### タイ最高裁判所での商標権紛争勝訴

溶接事業部門は、タイを含むアセアン地域で40年以上にわたる事業活動を通じ、当社社名の「KOBELCO」や「RB-26」という溶接材料の商標、赤黒のパッケージデザインは確固たる認知度を誇っています。こうした中、タイにおいて当社溶接材料製品の模倣品が出回り、東南アジア市場に混乱をもたらしたことから、当社はタイ中央知的財産国際取引裁判所に模倣品業者を提訴し、2007年に同裁判所から被告の商標権侵害を認める判決に続き、この度タイの最高裁判所でも改めて模倣品業者の行為の違法性が認められました。今後もこのような違法行為を断固として許さない姿勢を堅持していきます。



### 溶接ソリューション開発(溶接プロセス開発)

2010年に販売開始しました「REGARC™省スペース型鉄骨コア・仕口兼用溶接システム」は、炭酸ガス溶接における飛散スパッタ量を従来比の10分の1まで低減可能なREGARC™技術を搭載した溶接システムです。REGARC™技術は、溶滴移行を最適化して、スパッタなどの発生量を大幅に抑制し、溶接電流を下げても高い溶着速度での溶接を可能としました。大組立用溶接システムや、建設機械向けの溶接システムなどへのREGARC™技術の搭載を進めるとともに、お客様へのソリューション提案につながる開発を進めていきます。

